

第4回齋藤拙堂顕彰吟道大会並びに俳句短歌入賞式の中止について

第4回齋藤拙堂顕彰吟道大会並びに俳句短歌入賞者表彰式（3月22日）は、コロナウィルスの拡散防止の観点から中止となりました。

大会開催に向け多大なご尽力を頂いた多数の関係者の方々には、心から感謝申し上げます。

俳句短歌の入賞者は、下記の通りです。また、令和2年度においても俳句短歌を募集発表いたしますので、多くの方々の応募をお待ちいたしております。

俳句の入賞作品（俳句応募作品数 143句）

津市長賞	次の風までの余力や木の葉の葉落つ	瀬川友子	嬉野町
津市議会義長賞	露けしや遺訓に学ぶ令和の世	白木ひろ海	上野
津市教育長賞	公園の野鴨せこせこ師走月	井村晃市	一色
顕彰会会長賞	拙堂も好みし伊勢の初鯉	湯浅重好	半田
佳作	津まつりを待つ子の憂しや颱風圏	長井順子	城山
佳作	偕楽という名に集ふ春の宵	澤口真理	一身田
佳作	鳴子手に安濃津よさこい秋果てる	松井真里菜	津商業
佳作	百舌鳥ないて拙堂墓所の木の間かな	内田寿子	野村
佳作	寒昂向かい知多の灯ぞともる	種田啓子	高茶屋
佳作	お七夜の僧も出店を覗きけり	奥山功	高茶屋
佳作	拙堂翁遺筆温か秋深し	岩脇美雨子	久居新町
佳作	拙堂も訪ねしこぶ湯木の実降る	岩脇久美子	白山
佳作	登り雨下りは晴れて梅見入る	久松敬和	観音寺
佳作	照紅葉拙堂おはす塔世山	宮下満寿美	久居

短歌の入賞作品（短歌応募作品数 37首）

津市長賞	月ヶ瀬にたゆることなき梅の花拙堂あゆみし道今に見ゆ	世古浩	伊賀
津市議会議長賞	津城址をめぐりて立てる冬木立に添ひて咲きをりつはぶきの花	山下幸子	城山
津市教育長賞	小春日の窓辺に差し込む図書館の昔日忍ぶ苦学生の頃	井村久仁子	一色
顕彰会会長賞	滔々と歴史を刻む入徳門今尚息吹く拙堂の教え	森永昌雄	大津
佳作	見慣れたる唐人踊りしゃご馬に今年も元気を貰ひてをりぬ	若林照子	大里
佳作	めらめらと登る太陽出艇のヨットは頭に火をつけて行く	中川政郎	阿漕